

3 市民意識調査の回答者の特性

性別

「性別」で回答率を見ると、女性の方が高い結果となっている。また、男女ともに前回に比べ低い回答率となった。

表：「性別」の抽出数と回答数

性別	抽出数		回答数		回答率	H13	
	人数	構成比	人数	構成比		構成比	回答率
男性	1,508	50.3%	510	44.6%	33.8%	42.1%	44.4%
女性	1,492	49.7%	622	54.4%	41.7%	55.6%	61.1%
不明			12	1.0%		2.2%	
計	3,000	100.0%	1,144	100.0%	38.1%	100.0%	53.7%

年齢別

「年齢別」では、年齢層が上がるにしたがって、回答率もおおむね上がっており、これは前回と同様の傾向となっている。また、そうした傾向のなかで、45～49歳代の回答率がやや低くなっている。

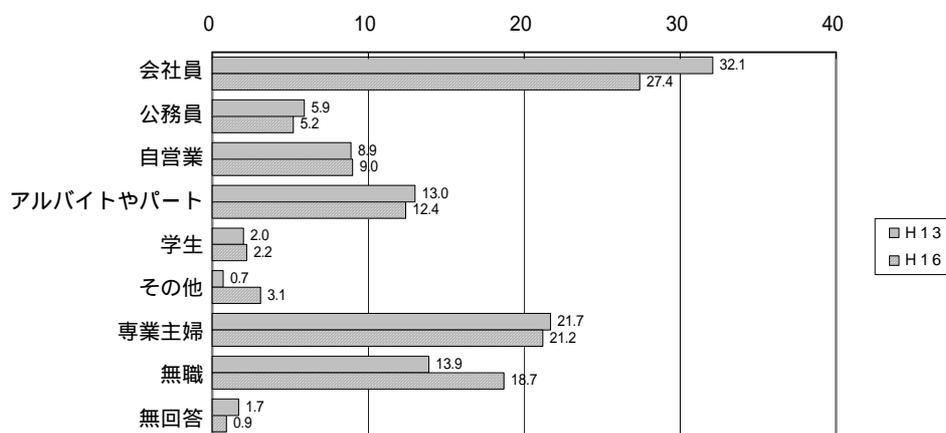
表：年齢別の抽出数と回答数

年齢	抽出数		回答数		回答率	H13	
	人数	構成比	人数	構成比		構成比	回答率
20～24歳	216	7.2%	54	4.7%	25.0%	5.5%	34.0%
25～29歳	288	9.6%	85	7.4%	29.5%	8.4%	36.5%
30～34歳	360	12.0%	112	9.8%	31.1%	11.2%	48.3%
35～39歳	307	10.2%	104	9.1%	33.9%	8.4%	48.1%
40～44歳	242	8.1%	80	7.0%	33.1%	7.6%	53.3%
45～49歳	208	6.9%	65	5.7%	31.3%	8.1%	55.8%
50～54歳	249	8.3%	97	8.5%	39.0%	10.6%	53.9%
55～59歳	290	9.7%	127	11.1%	43.8%	10.2%	65.1%
60～64歳	275	9.2%	121	10.6%	44.0%	9.9%	65.0%
65歳以上	565	18.8%	292	25.5%	51.7%	18.4%	68.8%
不明			7	0.6%		1.7%	
計	3,000	100.0%	1,144	100.0%	38.1%	100.0%	

就労状況

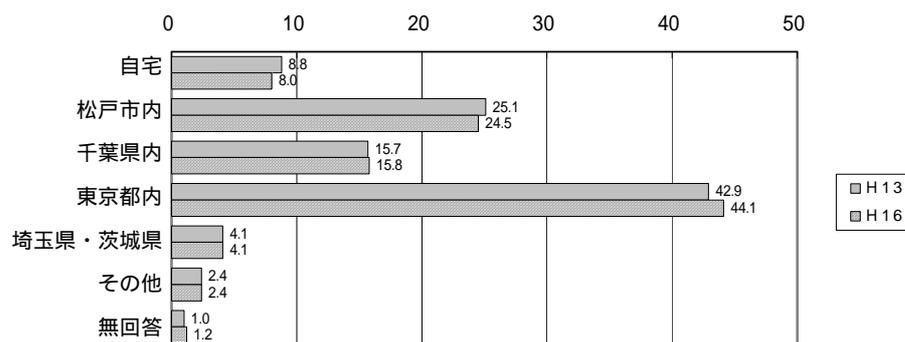
就労状況は、「会社員」が最も多く、次いで「専業主婦」、「無職」の順となっている。前回との比較では、「会社員」が減少、「無職」が増加しているのが特徴となっている。

グラフ：就労状況



さらに、就労・通学している人の通勤地・通学地は、「東京都内」が最も多く、次いで「松戸市内」、「千葉県内」、「自宅」の順で続いている。また、これらは前回とほぼ同様の構成となっている。

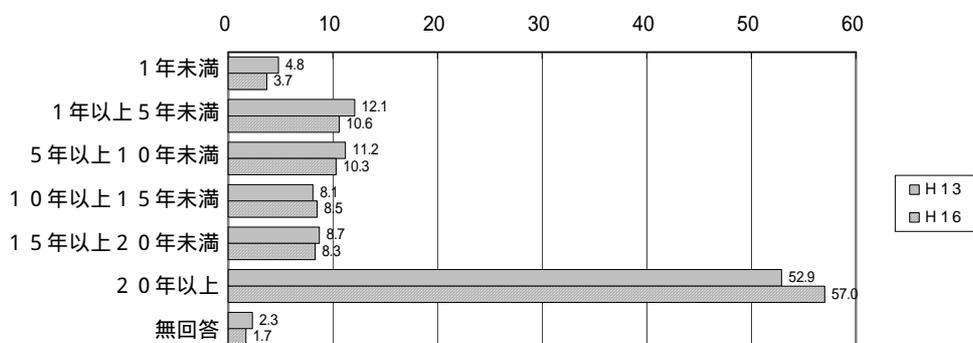
グラフ：勤務地・通学地



居住年数

居住年数については、「20年以上」が半数を超える割合を占めている。前回からは、「20年以上」が増加しているのが特徴となっている。

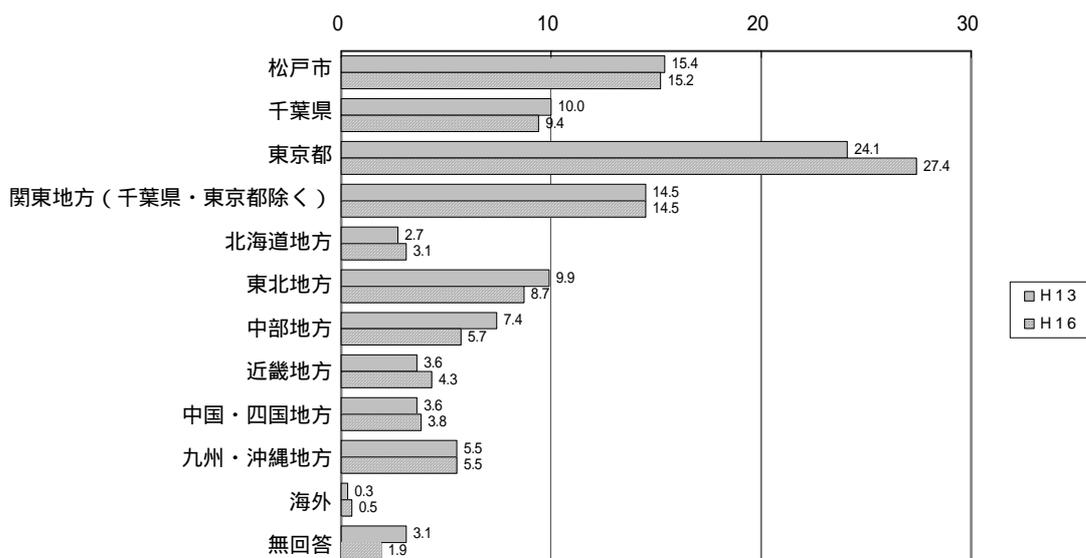
グラフ：居住年数



出身地

出身地については、「東京都」が最も多く、以下、「松戸市」、「関東地方（千葉県・東京都除く）」の順が続いている。前回との比較では、東京が増加している。

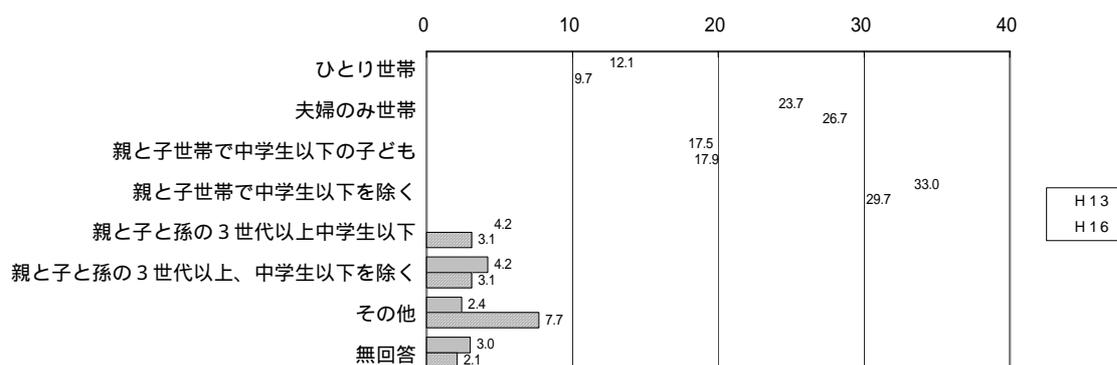
グラフ：出身地



家族構成

家族構成を見ると、「親と子世帯で中学生以下を除く」が最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」「親と子世帯で中学生以下の子ども」「ひとり世帯」の順となっている。前回との比較では、最も多い「親と子世帯で中学生以下を除く」がやや減少したのに対し、「夫婦のみ世帯」がやや増加しているのが特徴として挙げられる。

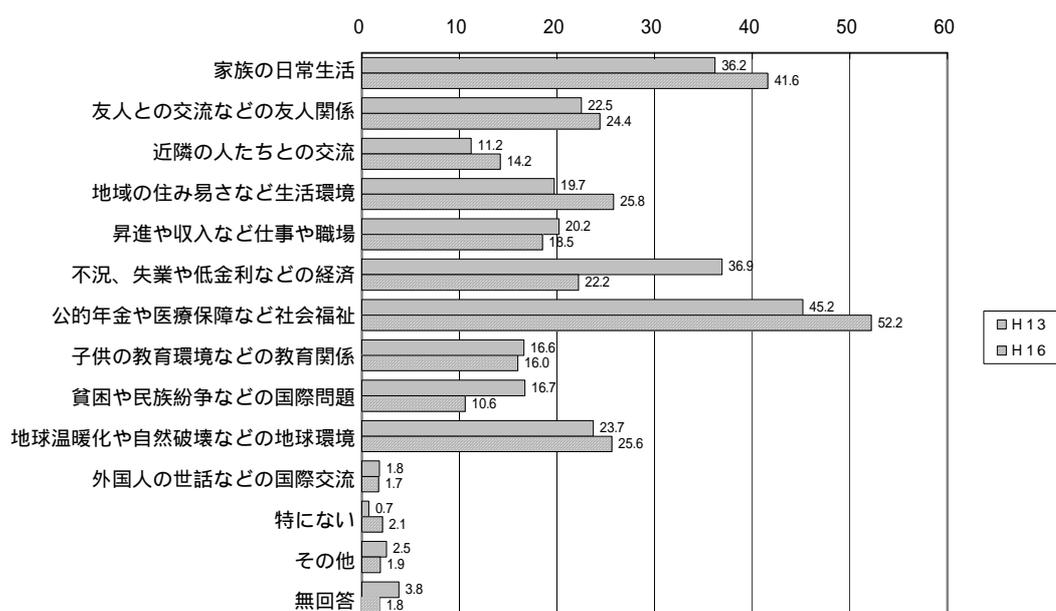
グラフ：家族構成



興味・関心（複数回答）

興味や関心については、「公的年金や医療保障など社会福祉」「家族の日常生活」「不況、失業や低金利などの経済」の順となっている。前回との比較では、「公的年金や医療保障など社会福祉」「家族の日常生活」「地域の住み易さなど生活環境」が増加、「不況、失業や低金利などの経済」「貧困や民族紛争などの国際問題」が減少したことが目立っている。

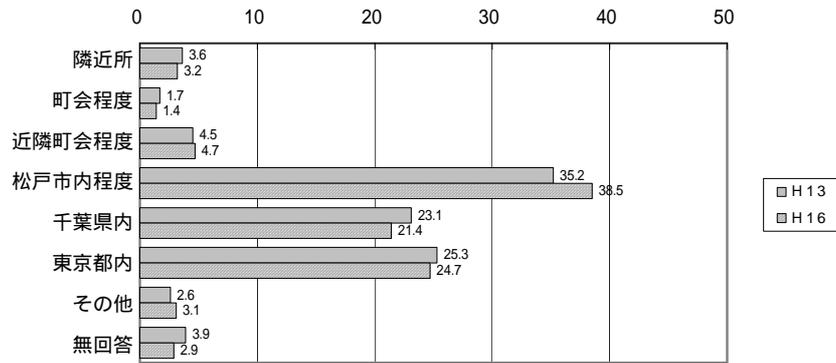
グラフ：興味・関心



日常的な行動範囲

日常的な行動範囲を見ると、「松戸市内程度」が最も多く、以下、「東京都内」「千葉県内」の順となっている。前回との比較では、「松戸市内程度」が増加、「東京都内」「千葉県内」がやや減少となっている。

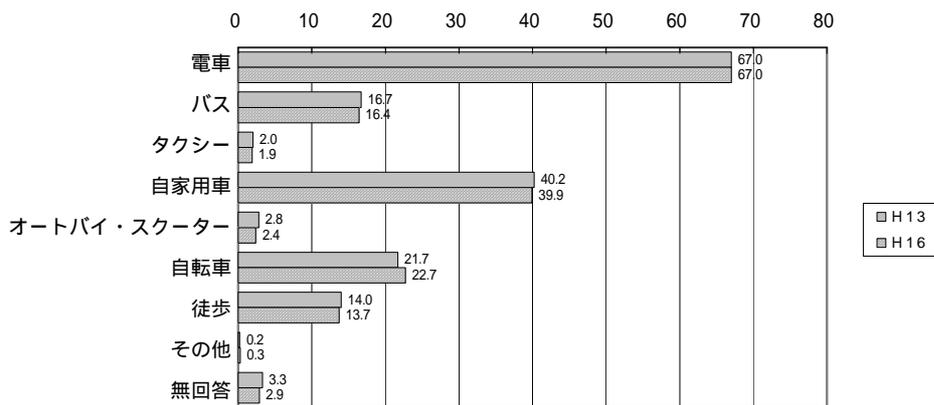
グラフ：日常的な行動範囲



主な交通手段（複数回答）

主な交通手段については、「電車」が最も多く、「自家用車」「バス」「徒歩」がこれに続いている。前回との比較でもほぼ同様の傾向となっている。

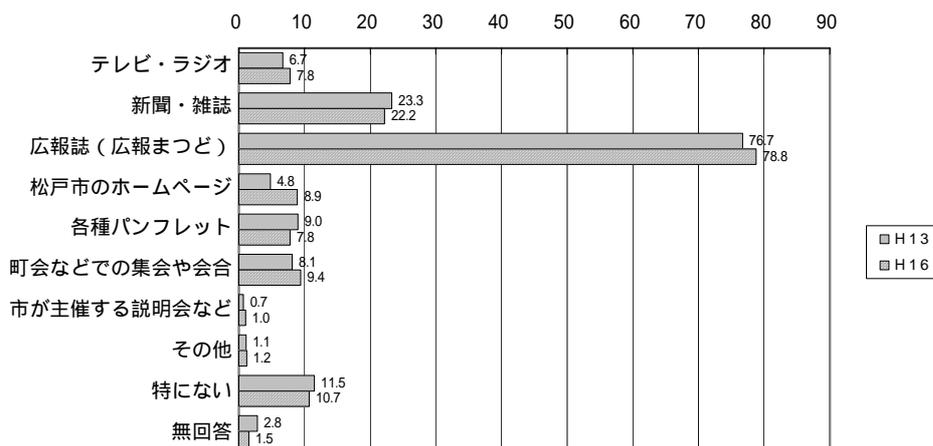
グラフ：主な交通手段



行政情報の入手手段（複数回答）

行政情報の入手手段については、「広報誌（広報まつど）」を挙げる回答が圧倒的に多く増えており、次いで「新聞・雑誌」「特にない」「町会などでの集会や会合」「松戸市のホームページ」「各種パンフレット」などとなっている。また、前回との比較でもほぼ同様の傾向であるが、「広報誌」がやや増加、「新聞・雑誌」「特にない」などはやや減少するなどの特徴もみられる。

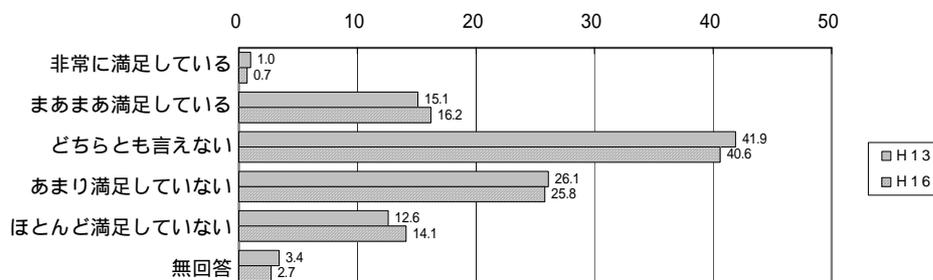
グラフ：行政情報の入手手段



行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「あまり満足していない」「まあまあ満足している」「ほとんど満足していない」「非常に満足している」の順となっている。前回との比較でも、ほぼ同様の傾向がみられるが、「どちらともいえない」「あまり満足していない」がやや減少、「まあまあ満足している」がやや増加するなどの特徴が挙げられる。

グラフ：行政サービスに対する満足度



地区別

地区別（支所管区）での回答率をみると、各地区とも30～40%台となっており、高いのは馬橋地区、小金原地区、新松戸地区、比較的低いのは本庁地区、東部地区、矢切地区などとなっている。

表：「支所管区」の抽出数と回答数

管区	抽出数		回答数		回答率	H13	
	人数	構成比	人数	構成比		構成比	回答率
本庁	813	27.1%	285	24.9%	35.1%	27.3%	54.3%
常盤平	580	19.3%	222	19.4%	38.3%	18.4%	50.5%
小金	263	8.8%	100	8.7%	38.0%	9.2%	55.4%
小金原	195	6.5%	81	7.1%	41.5%	7.0%	57.7%
六実	180	6.0%	69	6.0%	38.3%	6.5%	59.7%
馬橋	244	8.1%	102	8.9%	41.8%	7.3%	48.8%
新松戸	382	12.7%	157	13.7%	41.1%	12.2%	50.6%
東部	174	5.8%	64	5.6%	36.8%	6.5%	61.9%
矢切	169	5.6%	64	5.6%	37.9%	5.6%	55.2%
計	3,000	100.0%	1,144	100.0	38.1%	100.0%	53.7%